

事業項目	事業の重点項目	事業計画	上半期報告
総合相談支援事業	【総合相談】 ○地域住民や関係機関への総合相談窓口の周知 ○住民の複雑化・複合化した支援ニーズに、専門性を活かした相談対応 【地域包括支援ネットワーク構築】 ○既存のネットワークの活用と、新たなネットワークの構築 ○地域包括ケアシステム充実のために関係機関や地域の支援者との協働 【実態把握】 ○圏域の実態について情報収集し、地域ニーズに応じた取り組みの実施	【総合相談】 ○地域住民や関係機関へ総合相談窓口の広報活動 ○公民館等での総合相談窓口の開催 ○民生委員から地域包括支援センターへ相談を繋ぐ際の、相談目安シートの運用（安田） ○ネットワークを活用した連携により、センター外他機関の専門職とも協力して、個別ニーズに対応した支援を行う ○研修受講により職員のスキルアップを図る 【地域包括支援ネットワーク構築】 ○行政との連携や重層的支援体制整備事業の活用 ○東部圏域の生活支援コーディネーターや民生委員、関係機関との協力体制の構築 ○サービス担当者や地域の支援者と繋がり、最新の情報を収集して相談事例への的確な対応ができる体制づくり 【実態把握】 ○生活支援コーディネーターや民生委員、公民館や駐在署等との情報交換の実施 ○高齢者サロン等の地域活動に出向き、高齢者や関係者への聴取等から地域実態を把握する ○高齢者の食支援・買い物支援等のニーズ調査を、生活支援コーディネーターと協力して行う	【総合相談】 ・高齢者サロンや体操教室、民生委員定例会にて広報活動の実施 ・相談目安シートの運用開始（安田） ・警察署や社会福祉協議会、医療機関、基幹相談支援センター等と連携し、支援の対応をしている ・研修受講（地域づくり、意思決定支援、アルコール関連問題支援） 【地域包括支援ネットワーク構築】 ・生活支援コーディネーターと相互に協力し合う体制が築けている ・担当民生委員と連絡を取り合いながら、相談事例に対応している 【実態把握】 ・高齢者サロンや体操教室、公民館や民生委員定例会に出向き、地域状況の把握に努めている ・高齢者の食や買い物支援等を含むニーズ調査を、生活支援コーディネーターを中心に行い始めている
高齢者虐待の防止と早期発見・権利擁護	【高齢者虐待への対応】 ○相談・通報への早期対応、益田市や関係機関との迅速なチーム支援の実施 【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ○権利擁護の観点での支援の充実 ○関係機関等と連携しながら、個別事例への対応 【消費者被害の防止及び対応】 ○消費者被害を予防する地域づくり 【広報・啓発活動】 ○権利擁護に関する各種制度の普及啓発を実施	【高齢者虐待への対応】 ○相談や通報時の迅速な情報収集を行い、高齢者虐待対応フローチャートに基づきチーム内での役割分担をして支援を迅速に開始する ○コア会議や権利擁護推進会議で関係職種と支援方針を検討 【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ○益田市中核機関への相談や法律専門職との連携、成年後見制度利用の支援の実施 ○認知症疾患医療センターやサポート医との連携 ○認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームとの連携・協働 ○益田市権利擁護推進会議への出席 【消費者被害の防止及び対応】 ○消費者センターや警察署等の関係機関との連携 ○住民への消費者被害防止の普及啓発 【広報・啓発活動】 ○認知症高齢者の相談窓口であることの広報活動 ○住民へ認知症理解への普及啓発の検討と実施 ○地域活動等に出向き、権利擁護に関する各種制度の広報	【高齢者虐待への対応】 ・フローチャートに基づき、虐待対応を行っている 【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・成年後見制度利用が必要なケースの支援について、益田市と連携している ・研修受講（認知症疾患医療センター、認知症連携、成年後見制度） ・益田市権利擁護推進会議への出席（7 月） 【消費者被害の防止及び対応】 ・消費者被害防止チラシの掲示やサロン等での配布 【広報・啓発活動】 認知症高齢者の相談窓口であることのチラシ掲示やサロン等での配布
包括的・継続的ケアマネジメント事業	【関係機関との連携体制構築支援】 ○地域包括ケアシステム充実のための、フォーマル・インフォーマルサービス等の社会資源担当者との連携体制作りと連携に関する課題の改善 【介護支援専門員に対する支援】 ○介護支援専門員が抱える課題について後方支援 ○研修開催	【関係機関との連携体制構築支援】 ○社会資源担当者との連携体制の維持・向上 ○総合事業の住民主体サービス担当者とのネットワーク強化 ○多職種間での意見交換の場を持ち、連携に関する課題整理と改善方法の検討 【介護支援専門員に対する支援】 ○介護支援専門員からの随時の相談対応、ネットワークを活用しながら支援方法の検討、直接的・間接的な後方支援 ○ケアマネジメント支援研修の開催（研修委員会）	【関係機関との連携体制構築支援】 ・移動販売や介護タクシー等のインフォーマルサービス担当者との顔合わせや連絡の実施 ・移動支援サービスに関する研修受講 【介護支援専門員に対する支援】 ケアマネジメント支援研修の開催（8 月）

	【主任介護支援専門員との連携】 ○地域のケアマネジメント力向上のための連携 【圏域地域ケア会議の開催】 ○定例型・随時型圏域地域ケア会議の開催 ○地域課題について適切な会議体への繋ぎ	【主任介護支援専門員との連携】 ○ケアマネジメント支援研修の協同開催（研修委員会） 【圏域地域ケア会議の開催】 ○4 地区（安田・鎌手・種・北仙道）毎に民生委員や生活支援コーディネーター等の出席を得て地域ケア会議を開催し、地域課題の検討、課題解決や資源開発に向けた取り組みを行う ○第二層協議体と合同で、各職（公民館長、地域魅力化応援隊、地域マネジャー、専門職）を招集した随時型圏域地域ケア会議を開催し、地域課題や検討、課題解決や資源開発に向けた取り組みを行う ※今年度はこれまで課題として挙がっていた食支援と通院移動支援について、4 圏域合同で検討や解決策の立案を進める ○圏域地域ケア会議で挙げた地域課題で解決が困難な場合は、益田市地域ケア推進会議や各種会議体へ繋ぐ	【圏域地域ケア会議の開催】 ・種地区 7 月（独居男性高齢者のアウトリーチ）、安田地区 9 月（65 歳未満の方の相談窓口） ・第二層協議体と地域ケア会議を合同開催し、東部圏域 4 地区の通院支援を検討中 ・山間部の配食サービスについて種地区の情報収集
介護予防ケアマネジメント事業	【介護予防支援事業所の安定的運営】 ○心身の状況や置かれている環境に応じて自らの選択に基づいたサービス利用ができるよう、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを実施 ○総合事業利用の推進	【介護予防支援事業所の安定的運営】 ○自立支援に向けたケアマネジメントの実施 ○総合事業介護予防ケアマネジメント運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施 ○益田市ケアマネジメント連絡会へ出席し、地域・高齢者支援事業について情報収集する ○ケアプランデータ連携システム導入の検討 ○総合事業の実施主体との関係をつくり、ケアマネジメントに活用できる ○公正性・中立性を保った居宅介護支援事業所へのケアマネジメント委託 ○委託居宅介護支援事業所への総合事業住民主体サービス等の活用の働きかけ ○研修受講により職員のスキルアップを図る	【介護予防支援事業所の安定的運営】 ・運用マニュアルに基づいたマネジメントの実施 ・種地区総合事業住民主体サービス担当者との連携、ケアプランへの位置付け ・居宅介護支援事業所へケアマネジメント委託（人員減により利用者へ懇切な説明を行い、9 月末に 30 件以上の新たな委託） ・研修受講（感染症対策、難病、利用者誤認防止、災害支援、骨折予防、福祉用具）
その他	【介護予防】 ○フレイルの早期発見・早期対応 【人生会議（ACP）】 ○地域住民へ ACP の推進 【任意事業】 ○住み慣れた自宅生活継続のため、住宅改修の支援 【その他】 ○運営に関する会議への出席 ○苦情への適切な対応 ○個人情報の保護と適切な取り扱い	【介護予防】 ○フレイル予防ついて住民への啓発活動 ○高齢者サロンや集いの場において、フレイル予防の取り組み ○津田健康体操教室の自治会運営の後方支援（安田） ○フレイル自己チェック表の配布（北仙道） ○東部圏域サロン情報の集約と、ケアマネジャー等への情報提供 【人生会議（ACP）】 ○益田市在宅医療介護連携支援センターが作成したパンフレットを用いた地域住民への啓発 【任意事業】 ○住宅改修の相談・手続き支援 【その他】 ○益田市介護保険推進協議会への出席 ○益田市地域ケア推進会議への出席 ○益田市地域ケア個別会議への出席 ○益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議へ出席し、市との連携を図る ○苦情受付と職員間で改善への取り組みの検討 ○個人情報の漏洩がないよう業務環境の点検 ○地域での広報活動や講演依頼等の対応 ○島根県立石見高等看護学院講師 ○養護老人ホーム入所判定委員の委嘱	【介護予防】 ・高齢者サロンや集いの場において、フレイル予防の講座を実施 ・津田健康体操教室の後方支援の継続 ・フレイル自己チェック表の配布（北仙道、4 月） ・東部圏域サロン情報の集約中 【人生会議（ACP）】 ・パンフレットの配布 【任意事業】 ○住宅改修の相談・手続き支援の対応 【その他】 ○益田市介護保険推進協議会への出席（7 月） ○益田市地域ケア推進会議への出席 ○益田市地域ケア個別会議への出席（5,6 月） ○益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議へ出席し、市との連携を図る（5,7,9 月） ○島根県立石見高等看護学院学生の地域包括ケアシステムについてのヒアリング対応 ○島根県立石見高等看護学院講師 ○養護老人ホーム入所判定委員の委嘱

事業項目	令和6年度事業 重点項目	令和6年度 事業計画	中間報告
総合相談支援事業	【総合相談】 ・移設3年目。引き続き、センターの地域住民への周知継続 ・高齢者の身近な相談窓口として啓発の実施 【地域包括支援ネットワーク構築】 ・地域関係機関との既存ネットワークの活用と社会資源を意識した新たなネットワーク構築への取り組み ・属性別の支援体制では、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難という実情を踏まえ、重層的支援体制整の一翼を担う（「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」） ・インフォーマルサービスの把握、利用促進 【実態把握】 ・圏域の生活環境の沿った地域実態の確認への取り組み ・益田市と連携し圏域の高齢者や地域の状況を把握する	【総合相談】 ・センターの役割・機能周知の広報活動継続 【地域包括支援ネットワーク構築】 ・公民館等を訪問し地域関係者との連携を図る ・インフォーマルサービスの把握、利用促進（民生委員・自治会・ボランティアなどインフォーマルな支援） ・ケースを通じた関係機関とのネットワークづくり ・行政との連携強化。地域生活支援係との協働（重層的支援体制整備） ・“ひとまる会議”開催要請、支援方針協議 ・個別相談事例を通じ、地域の高齢者や関係機関等における実態を把握し、対応への活用を図る ・生活支援コーディネーター、民生・児童委員、公民館、ボランティア団体、警察との連携 ・認知症カフェ、百歳体操、軽スポーツ教室、各地区イベントへの参加 ・益田市ニーズ調査の活用	令和6年度上半期は、引き続き当センターの周知広報に努めた。圏域内ショッピングセンター・金融機関・保健所・公民館などへチラシを配布、掲示いただく。 公民館訪問、地域行事・イベントへの参加、益田市保健センターの健康教室、益田市社会福祉協議会の講座・サロンなど参加し相談ブースを設け当センターの周知に加え、地域の課題・事例の発掘に努め、一定程度の成果はあったと考えている。今後も引き続き、地域住民、行政その他との連携を密にし、また、比較的協力的な民生・児童委員、自治会長などへの同行や自宅訪問など行い関係性醸成に努めた。 個別の相談対応を通じ、医療・介護を中心とした行政をはじめとした関係機関、民生・児童委員および地域住民との連携は随時行っており、職員の退職が続き総合相談、介護予防支援・介護予防マネジメントに追われているのが実情であった。その影響もあり、地域ケア会議（全圏域含めてのものではないが）も4月に1件実施のみに留まっている。 可能な限り、認知症カフェ、100歳体操などへの参加をしている（約20ヶ所程度） 【令和6年度上半期実績】 総合相談新規相談件数 総数:188件 31/月平均 総合相談 総数(延数):2741件
高齢者虐待の防止と早期発見・権利擁護	【高齢者虐待への対応】 ・地域住民や関係機関からの相談や通報への適切な対応 ・益田市との協働による迅速な支援の実施 【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・個別事例に対する多角的視点でのチーム対応 ・関連専門職や関係機関との連携 ・日常生活自立支援事業、成年後見制度利用支援事業の推進、及び、日常生活自立支援事業より成年後見制度への適切な移行 【消費者被害の防止及び対応】 ・個別相談事例を通じた消費者被害防止への対応 【広報・啓発活動】 ・認知症・権利擁護推進に関する各種イベントへの参加	【高齢者虐待への対応】 ・1次相談窓口として相談しやすい環境の構築 ・関係機関と相互に連絡、協力、支援が行える体制の構築（重層的支援体制整備） ・コア会議の開催要請、支援方針協議 【判断能力を欠く常況にある人への支援】 ・益田市権利擁護推進会議への出席 ・益田市中核機関、認知症疾患医療センター、法律関係専門職との連携 ・認知症初期集中支援チーム活用 ・認知症地域支援専門員との関係づくり、連携・協働 ・益田鹿足成年後見センター定例会への参加 ・石西権利擁護推進センターとの情報交換体系の構築 ・権利擁護に関する業務、成年後見申し立て等のコンサルティングを行う事業所確保の是非、可否検討 【消費者被害の防止及び対応】 ・警察、消費生活センター等関係機関との連携 【広報・啓発活動】 ・認知症関連の研修、イベントへの参加と関与 ・成年後見制度に関する研修、イベントへの参加と関与	高齢者虐待に係る相談・通報に対し随時対応を行った。医療機関、民生・児童委員、介護施設等より相談を受け、周辺状況に配慮しつつ行政と連携し進めている。 地域包括推進係との協働、益田市コア会議、ひとまる会議での協議、検討など積極的に行い情報共有を行っている。認知症に関する圏域内の研修会には、ほぼ出席をしている。 相談事例を通じて日常生活自立支援事業の検討、認知症疾患医療センターへの相談（トレジャー（水曜検討会））を行っている。11月より、益田鹿足成年後見センターへの定期参加を再開する予定。 警察、消費生活センター等関係機関との連携を模索、会議や研修会など行い関係性の構築を図っている。 成年後見制度の実務を行う法律関係専門職に対する後方支援も行っており、判断能力を欠く常況にある人への直接的、間接的支援を行っている。 成年後見制度申請、現時点で1件、その他数件検討中の案件あり。 【令和6年度上半期実績】 高齢者虐待に係る対応件数 1件 成年後見制度申請件数 1件

包括的・継続的ケアマネジメント事業	【関係機関との連携体制構築支援】 ・医療、介護、障害、生活困窮等の各分野の関係機関との相互関与（地域住民や多様な主体が協働して地域福祉を推進・地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、従来の支援体制の見直し） 【介護支援専門員に対する支援】 ・介護支援専門員からの相談や個別支援の実施 【主任介護支援専門員との連携】 ・地域におけるケアマネジメントの実態把握と改善を共同する 【圏域地域ケア会議の開催】 ・定時型圏域地域ケア会議実施に向けた環境整備 ・随時型圏域地域ケア会議の実施	【関係機関との連携体制構築支援】 ・入退院、入退所時の連携 ・医療機関、介護施設、障害者施設、生活困窮分野等からの相談への対応（分野横断的に多機関での対応） 【介護支援専門員に対する支援】 ・支援困難事例についての相談、同行訪問等の後方支援を行う ・ケアマネジメントの質の向上に対する必要な支援を行う ・ケアマネジメント支援研修会の開催（研修委員会、島根県介護支援専門員協会） 【主任介護支援専門員との連携】 ・介護支援専門員への研修や相談を協働・協同する 【圏域地域ケア会議の開催】 ・個別ケースを通じた随時型圏域地域ケア会議の開催 ・定時型圏域地域ケア会議に必要な環境の検討と準備継続（圏域4地域毎の開催を目指す）	令和4年4月の開設以降、医療機関や介護関連施設、障がい分野関係機関より随時相談を受け対応している。ひとまる会議やコア会議など開催し情報共有や具体的対応の検討を行っている。 高齢者の対応のみならず、増加している複合的・重層的・多様性のある複雑化する問題を抱える世帯に対して支援を分野横断的に多機関で連携や支援を理解、促進するべく努力をしており、きたるべき包括的支援体制整備と重層的支援体制整備事業への備えを強く意識し業務に取り組んでいる。 介護支援専門員からの相談に対し、3専門職が必要な助言や同行訪問等を行い対応している。主任介護支援専門員が他包括支援センターと連携し、地域におけるケアマネジメントを意識した研修の計画、実施を行っている。 地域柄、圏域内での共通課題の抽出は困難であるため、当面は、各地区（4地区）において地域ケア会議を行っていくこととしている。適宜、各公民館との連携の中で実施に向け検討・調整を行っている。
介護予防ケアマネジメント事業	【介護予防支援事業所の安定的運営】 ・適切かつ安定した介護予防支援、介護予防ケアマネジメント支援の実施に向けた環境の整備を行う ・総合事業利用の適正な利用 ・スタッフの確保	【介護予防支援事業所の安定的運営】 ・介護予防支援と委託居宅介護支援の質・量における適正化を図る ・益田市高齢者福祉課との連携強化 ・委託居宅介護支援事業所との連絡・連携体制の構築 ・効率的な業務遂行のためのソフト・ハード面の整備を行う ・ケアプランデータ連携システムの導入に向けた情報収集	令和4年4月の開設以降、介護予防支援事業所の実務を粛々と行っているが、総合相談共に人員不足にて、タイムリーな対応、職員の質・量の確保に極めて難渋している。委託居宅介護支援事業所との連携も分離前の事務処理を踏襲し各種請求業務など大きな問題もなく行うことができていたが、要支援、事業対象者の受け皿が絶対的に不足しており、そういう意味では対応に難渋しているといえる。行政との協働が不可欠・不可避 【令和6年度上半期実績】 介護予防支援事業所取扱件数:1544 件 257/月平均(委託:903 件 150/月平均)
その他	【任意事業】 ・住み慣れた場所で自分らしい暮らしを継続できるよう支援する 【その他】 ・地域包括支援センター運営関連会議への参加 ・ACPの啓発 ・スタッフ確保	【任意事業】 ・住宅改修の支援、福祉用具購入、介護保険外サービス・ボランティア利用促進 【その他】 ・益田市介護保険推進協議会出席 ・益田市地域包括支援センター連絡会議・管理者会議出席 ・益田市地域ケア推進会議出席 ・益田市地域ケア個別会議出席 ・ACP資料を利用し地域住民への啓発活動を行う ・スタッフの質・量的な確保	地域包括支援センター連絡会に定期的に参加し、各地域包括支援センター及び行政との情報共有や連携を図っている。 管理者は各会議に出席し、センターの実情について報告を行い今後の課題抽出、顕在化に努めているとともに、各専門職は各種研修等に参加し資質向上に努めている。 各公民館訪問、地域行事・イベント・サロンなど積極的に参加している。当センターチラシ、ACP資料配布。 残念ながら、職員の確保が充分にできず、質・量共マンパワー不足といわざるを得ない状況にて、厳しい状況は継続している。組織内職員・有資格者から希望者を募る、教育プログラムを作るなど人材教育・育成も含め体系立てた。 益田市医師会訪問看護ステーションと“みんなの保健室”共催。 益田医師会病院医療介護連携統括部の行っている“あんきな座談会”を利用し地域の勉強会・講演・セミナー等計画している（12月実施予定）。当センターチラシ、ACP資料配布。 生活支援体制整備事業、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりのため、第1層・第2層会議に参加し、生活支援コーディネーターと協働しイベント、ボランティア活動等へ参加している。

事業項目	令和 6 年度事業の重点項目	令和 6 年度 事業計画	令和 6 年度 上半期実績報告
総合相談 支援業務	【総合相談】 地域住民等すべての人々の人権と尊厳を尊重して、本人の自己決定と自己選択に配慮した相談支援を行う。 特に、認知症の方やそのご家族への相談や周知活動、フレイル予防の相談や周知活動に取り組む。 また、多様化・複雑化する地域課題や生活課題を適切に把握できるよう、関係機関と連携して取り組むとともに、各種研修会等に参加し、自己研鑽や情報収集を図る。	【総合相談】 ・アウトリーチによる丁寧な相談対応 ・益田市認知症ケアバスの活用 ・圏域へのチラシやカレンダー等の配布 ・障害福祉サービス等他制度利用者や 8050 等重層的な課題を抱える方への相談支援を関係機関と実施 ・重層的なケースや困難ケースなど事例提出を行いひとまる会議での相談や活用 ・早助など活用して独居者の安心への支援 ・社協主催の支援会議などに参加 ・水曜ケース検討会や弁護士相談会等への参加 ・相談面接技術や認知症、フレイルについての研修会等への参加	【総合相談】について 新規相談件 163 件（内電話 145 件）相談形態 電話 89% ⇒訪問しての件数 93 件 男性：43% 女性：56% 不明：1% 後期高齢者 72% 独居または高齢者のみの世帯 46% 介護保険サービスを紹介し解決出来た等、相談のあった月で解決したケースは 34% 権利擁護や認知症、家族支援等、解決を相談受付次月以降に持ち越すケース 65% ・多様化・複雑化に関連し困難なケースが増えてきている。相談受付次月以降に持ち越すケースが 65%と半数を超えている。R6 年度も関係機関と連携して早期解決に向け努力していく必要がある。 ・4 月～5 月に 6 公民館へ行き新年度の挨拶、住民への回覧時に西部包括支援センターチラシ配布・6 公民館の年間行事予定の把握、令和 6 年度の地域ケア会議の説明を行った ・ひとまる会議参加 4/26・5/24 ・支援会議参加 6/7 ・弁護士無料相談（人権センター）付き添い 5/24 ・ひきこもり支援従事者研修 8/2
	【地域包括支援ネットワーク構築】 圏域の公民館、サロン、各種会議に参加させて頂き、センターの業務の周知を図るとともに、地域課題の把握や解決に取り組む。 また、小集会所単位にケアバスを持って「楽しく」をモットーに認知症の取り組みの啓発活動を行いながら、ネットワーク構築を図る。	【地域包括支援ネットワーク構築】 ・圏域公民館や社会福祉協議会との連携（行事予定を事前に把握し計画的に参加し交流を図る） ・益田保健所と連携し病気を抱える方達の集いの場所などの活用 ・民生委員との顔の見える関係づくり（新体制となる民生委員との交流の機会） ・圏域サロンや集い、認知症カフェ、百歳体操等への参加、周知活動 ・行政の各課との連携	【地域包括支援ネットワーク構築および実態把握】について ・益田保健所職員講師、難病（パーキンソン病関連疾患）の在宅支援研修参加 8/23 ・地域包括支援センター研修参加 7/25 ・西南地区民生児童委員協議会参加 5/16 ・美濃地区 100 歳体操参加 4/22 ・西益田地区民協定例会議参加 5/17 ・高津地区民生・児童委員会議参加 6/17 ・美濃地区「ふれあい給食」開催時の講演依頼 6/14 ・中西地区民協定例会議参加 6/21 ・美濃・二条地区民協定例会議参加 5/16 ・小野地区民協定例会議参加 6/13 ・生活習慣病予防教室益ます元気教室～糖尿病予防講座～ 9/5
	【実態把握】 圏域公民館や民生委員、生活支援コーディネーターから、地域住民の抱える課題を情報共有し、実態を把握していく。	【実態把握】 ・第二層協議体と連携し圏域 6 ケ所の公民館への訪問、情報交換 ・行政機関からの情報収集、地域の実態や課題の把握 ・障がい者の益田市基幹相談支援センターとの情報交換	【実態調査】 ・第二層協議体（中西地区）参加 4/30 ・ " （二条地区）参加 6/18 ・ " （豊田地区）参加 8/29 ・支援会議で基幹相談との情報交換行う 6/7

高齢者虐待の防止と早期発見・権利擁護業務	【高齢者虐待への対応】 相談、通報があった時点で、地域包括推進係と連携し、初動期対応、協働、早急な終結に向け取り組む。 また、未然防止のため、地域での周知活動に取り組む。 【判断能力を欠く状況にある人への支援】 高齢者の成年後見制度の利用、日常生活自立支援事業の活用、また、認知症の方やその家族から相談に、関係機関と連携しながら対応する。 特に、認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、認知症カフェのような、アットホームで楽しい啓発活動に取り組む。 【消費者被害の防止及び対応】 個別の事例に対し、被害回復や再発防止に向け、関係機関と連携し相談対応を行うとともに、防止に向けた周知活動に取り組む。 【広報・啓発活動】 高齢者虐待の防止や成年後見制度・日常生活自立支援事業の紹介、消費者被害の防止のため、周知活動を行う。	【高齢者虐待への対応】 ・高齢者虐待または疑われる事例への迅速な対応 ・虐待防止コア会議への事例提出、支援体制検討 ・虐待防止研修会等への参加 ・集いの場等での周知活動 【判断能力を欠く状況にある人への支援】 ・成年後見についての相談には、地域包括推進係や益田・鹿足成年後見センターと連携して対応 ・日常生活自立支援の相談については、社会福祉協議会と連携して対応 ・障がい者については益田市基幹相談支援センターなどとの連携 ・圏域のサロンや集いに出向き啓発活動や相談支援に取り組む ・地域の認知症カフェへの参加・交流 ・キャラバンメイト研修等の受講 ・認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員との連携 ・益田鹿足成年後見センター運営会議・定例相談会への参加 【消費者被害の防止及び対応】 ・消費者センターや消費生活センターと連携し対応 ・弁護士による無料相談活用への支援 ・集いの場等で予防のための周知活動 【広報・啓発活動】 ・年度初めにセンターの周知に合わせ、認知症の理解や権利擁護についての紹介のチラシ等作成、配布 ・地域の各機関と連携し、様々な機会を通じ、情報発信	【高齢者虐待への対応】 ・介護者が要介護者からの虐待相談対応 2件 ・ヤングケアラーのケース対応 1件 ・市のヤングケアラー相談窓口研修（益田市地域包括支援センター連絡会議内） 5/16 ・益田市権利擁護推進会議への参加 7/23 ・高齢者虐待防止研修 5/1. 【判断能力を欠く状況にある人への支援】 ・成年後見受任会議に至るまでの相談・面談に地域包括推進係職員と同行 ・消費者トラブル研修 ・益田・鹿足成年後見センター定例会への参加 4/17・6/19・8/21 ・美濃地区 100 歳体操参加 4/22 ・益田市ケアマネジメント研修、難病「パーキンソン病関連疾患」の制度と・在宅支援研修参加 8/23 ・アルコール依存症・相談のポイント等研修 9/6 ・レカネマブ投与を見据えた認知症連携について等の研修 8/29 ・認知症の方の相談対応件あり、市の地域支援推進員と協力して取り組むケースがあった。 【消費者被害の防止及び対応】 ・弁護士による無料相談活用・付き添い ・公民館に回覧板用にチラシ配布 【広報・啓発活動】 ・4月～5月にかけて6公民館に回覧板用チラシ配布
包括的継続的ケアマネジメント支援業務	【関係機関との連携体制構築支援】 介護支援専門員やサービス提供事業者、行政機関、民生委員、インフォーマルな支援者等とのネットワークの構築をする。 また、日頃の相談や地域ケア会議の検討内容から、地域の現状を把握するとともに、第二層協議体の生活支援コーディネーターとも連携し、地域課題を把握する。 介護支援専門員との連携を深めるため、各事業所に訪問し、意見交換の機会を設け、地域包括ケア推進のための連携を深める。	【関係機関との連携体制構築支援】 ・居宅介護支援事業所やサービス提供事業者等と、顔の見える関係作り ・介護支援専門員との信頼関係作り、交流 ・介護支援専門員連絡会への参加 ・ますだ福祉医療ネットワークへの参加(奇数月) ・介護予防ケアプランのチェック時等の機会を有効に活用し、介護支援専門員や介護予防支援員から地域住民の抱える課題を情報収集 ・益田市地域ケア会議、地域ケア個別会議への参加(開催月)	【関係機関との連携体制構築支援】 ・ケアプラン確認により委託居宅介護支援事業所との情報提供や情報収集を行うなどして連携を図った 4月：23件 5月：20件 6月：19件 7月：19件 8月：25件 9月：14件 ・ケアプラン点検担当職員と介護支援専門員協会地区協会との意見交換会参加 5/21 ・益田市在宅医療・介護連携推進協議会参加 7/10 ・ますだ福祉医療ネットワークへの参加 5/15・7/17・9/18

	【介護支援専門員に対する個別支援】 利用者にとって最善のケアマネジメントが提供されるよう、介護支援専門員に寄り添い、事例ごとに指導や助言を行う。 また、ケアマネジメント支援研修を市とともに開催し、ケアマネジメントの質の向上を図る。 【主任介護支援専門員との連携】 各事業所の主任介護支援専門員と連携し、介護支援専門員等の知識、技術の向上を図る。 また、主任介護支援専門員同士で協力し、指導力向上、共通理解、地域づくりを行う。 【地域ケア会議】 地域ケア個別会議や西部地域ケア会議で事例検討等を行い、地域課題を把握する。また、益田市地域ケア推進会議へ地域課題をつないでいくとともに、関係機関や地域住民とのネットワークを強め、協働して体制作りを行う。	【介護支援専門員に対する個別支援】 ・介護支援専門員が作成したケアプランを確認、評価 ・援助に困難を感じている介護支援専門員へ助言、後方支援 ・ケアマネジメント支援研修の企画、案内(知識習得研修は5つのセンターで担当) 【主任介護支援専門員との連携】 ・ケアマネジメント支援研修会の協働企画運営 ・主任介護支援専門員フォローアップ研修会の企画運営 ・主任介護支援専門員との連携により地域の介護支援専門員等のケアマネジメント実践を支援する ・研修会や会議への参加を通じ、連携強化 【地域ケア会議】 ・地域ケア個別会議で、自立支援・重度化防止に取り組むとともに、地域課題を把握する。 ・西部地域ケア会議を随時型で開催 ・事例に合わせ、柔軟に参加者を調整し、多様な意見を出し検討 ・圏域の公民館や第二層協議体と連携し開催	・益田市地域ケア個別会議 5/20・7/16 ・特定事業所主催事例検討会議 6/13 【介護支援専門員に対する個別支援】 ・介護支援専門員が作成したケアプランを確認、評価 ・援助に困難を感じている介護支援専門員へ助言、後方支援 ・ケアマネジメント支援研修の企画、案内 ・ケアプラン点検担当職員研修参加 5/21 【主任介護支援専門員との連携】 ・ケアマネジメント研修の打合せ 9/5 ・益田市主任ケアマネジメント支援研修 4/18・8/23 ・主任介護支援専門員フォローアップ研修会の企画運営参加 【地域ケア会議】 ・地域ケア個別会議参加 5/20 ・地域ケア個別会議の事例提供を介護支援専門員と取り組む。 ・西部地域ケア会議の企画開催 ・6公民館を訪問し話し合いの機会を持ち、公民館長、地域応援隊員・マネージャー、民生委員とで、「西部圏域地域ケア会議」立ち上げの話し合いを進めた。 - 中西公民館 4/30・ - 西益田公民館 5/2・5/16 - 二条公民館 5/7・5/16 - 美濃公民館 5/16 - 小野公民館 5/21 - 高津公民館 5/24・6/17 ・地域ケア会議開催 7/22・9/12
--	---	--	---

介護予防ケアマネジメント事業	利用者とともに、自立を支援し、自己決定と自己選択に配慮したケアプランを作成する。 また、地域の様々な社会資源を可能な限り情報収集して活用し、地域での生活を支援するプラン作成を行う。 利用者の人権と尊厳を尊重できるよう、各種研修会に参加しスキルアップするとともに、多職種、関係機関との連携を大切にする。	・介護予防給付及び介護予防・日常生活支援総合事業のケアマネジメントの実施 ・益田市地域支援事業及び益田市高齢者支援事業の活用支援 ・自立支援に向けたケアプラン作成 ・インフォーマルな社会資源を活用したプラン作成 ・介護予防やケアマネジメントについての会議や研修会等への参加 ・ケアマネジメント技術向上のための研修会への参加 ・多職種、関係機関との連携	・事業対象者のプラン 225 件 (内委託 64 件) ・介護予防支援、介護予防ケアマネジメント 2,009 件 (内委託 954 件) ・委託事業所 市内 16 事業所 ・介護予防ケアマネジメント
その他	・住宅改修支援事業の対象者に対し、住宅改修に関する情報提供や助言等を行い、適切な事業実施をおこなう。 ・石見高等看護学校の授業、実習のスムーズな受け入れ。 ・公民館や協議体と連携して、各地域の実態を把握し、地域で包括的ケアをどう作っていけるか協働していく。 ・地域包括ケアシステムのための取り組みを行う。 ・地域包括支援業務遂行のための各種会議、研修会等への参加を積極的に行う。	・住宅改修の支援 ・認定調査の受託 ・地域交流の機会へ積極的に参加 ・社会資源の開発や地域自治組織との連携 ・益田市介護保険推進協議会、益田市地域ケア推進会議への参加 ・在宅医療・介護連携推進のための多職種研修会への参加 ・益田市地域包括支援センター連絡会への出席 ・益田圏域地域包括支援センター連絡会への出席 (開催月) ・地域包括支援業務遂行の為の各種会議への参加 ・島根県立石見高等看護学院の生徒実習受け入れ ・島根県立石見高等看護学院講師派遣	・住宅改修 ・認定調査の受託 ・第二層協議体 (中西地区) 参加 4/30 ・ " (二条地区) 参加 6/18 ・ " (豊田地区) 参加 8/29 ・美濃地区「ふれあい給食」開催時の講演依頼 6/14 ・介護保険運営協議会への参加 7/31 ・在宅高齢者による感染症の勉強及び対応研修 6/6・9/1 ・益田市介護保険推進協議会参加 7/31、 ・益田市地域包括支援センター連絡会への出席 (1 回/3 ヶ月) ・石見高等看護学校学生実習開始 5/10～ ・島根県地域包括支援センター連絡会 総会・センター長会 6/20 ・福祉人材確保に関わる作業部会参加 ・NPO法人えびす運営推進会議参加 6/26 ・デイサービスセンター湖水園運営推進会議参加 9/17 ・益田市在宅医療・介護連携推進協議会参加 7/10

美都地域包括支援センター

●事業実績

1.総合相談支援事業

【目的】

地域に住む高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて包括支援センターの各業務につなげていく。

【実績】

(1)総合相談

表1 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R5 年度上期計
新規相談件数	3	4	2	4	3	6	22	31
継続相談件数	2	3	1	3	3	6	18	25
延べ対応件数	16	28	18	16	13	18	109	168

(2)実態把握等

表2 実態把握等実績

日付		活動内容	対応者
4 月	16	都茂郷地区『サロンつもごー』	新田 香 海老谷 美陽子
	18	丸茂地区『丸茂フラワーサロン』	新田 香 海老谷 美陽子
	20	おしゃべりカフェあんず	新田 香 海老谷 美陽子
7 月	10	東仙道地区『東仙道おたのしみサロン』	海老谷 美陽子

【課題】

新規受付件数、延べ対応件数共に、昨年度上期より減少している。受け付けたケースの約 6 割が家族からの相談となっており、その傾向は昨年度上期と同様である。サービス利用の必要性はあるが、サービスになかなか繋がらないケースへの支援について、どのように支援を行っていけば良いか苦慮している。

【次期に向けた取組み】

引き続いて、総合相談対応、支援が必要な方の発見等のために、美都地域の高齢者サロン等への訪問を行っていく。

7 月より総合相談対応職員が 1 名となった。現在兼務の職員が、主任介護支援専門員の資格取得の研修を受講中であり、資格取得後は、総合相談の対応も行っていけるようにしていきたい。

2.権利擁護事業

【目的】

高齢者等が住み慣れた地域で尊厳のある生活と人生を維持するための、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的にこなう。

【実績】

(1)高齢者虐待に関すること

虐待が疑われるケースの相談実績、対応実績はなし。

表1 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R5 年度上期計
通報件数	0	0	0	0	0	0	0	0
うち虐待認定件数	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)成年後見に関すること

成年後見に関する相談実績はなし。

表 2 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R5 年度上期計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	2

(3)消費者被害等に関すること

消費者被害等にかんする活動実績はなし。

表 3 活動実績

日付	活動内容	関係機関	対応者

(4)認知症支援に関すること

認知症支援に関する相談実績はなし。

表 4 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R5 年度上期計
相談件数	0	0	0	0	0	0	0	0

【課題】

権利擁護事業に関する相談件数は挙がっていない。例年相談件数は少なく、支援が必要な方の発見が行えていない可能性や職員の権利擁護に関する視点が不足している可能性がある。

【次期に向けた取組み】

権利擁護に関する支援が必要な方への早期発見・対応が行えるよう、関係機関との連携を図ることや制度の活用支援を行う。また、職員のスキルアップのため、権利擁護に関する研修への参加を行う。

3.包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

【目的】

地域包括ケア推進のため、介護支援専門員が中心となって包括的・継続的ケアマネジメントを実践することができるように、直接的に介護支援専門員を支援するとともに、環境面を整備する間接的な支援を実施する。

【実績】

(1)介護支援専門員支援

地域の介護支援専門員等から相談を受け付けた際には、随時助言を行っている。また、美都圏域を担当区域としている介護支援専門員へ社会資源・地域課題等についての情報提供を行った。また、美都圏域在住の方のケアマネジメントを行うにあたり困っていること等の把握を行った。

(2)益田市ケアマネジメント支援研修

表1 活動実績

日付		活動内容	開催場所	対応者
4月	18	研修委員会	オンライン	新田 香

【課題】

地域の介護支援専門員等からの相談について、随時助言を行っているが、随時型地域ケア会議開催には至っていない。美都圏域を担当区域としている介護支援専門員へ美都圏域在住の方のケアマネジメントを行うにあたり困っていること等の把握を行ったのみとなっている。

【次期に向けた取組み】

地域の介護支援専門員等から相談があった際には、継続して助言を行っていく。必要に応じて、随時型地域ケア会議の開催を行う。美都圏域を担当区域としている介護支援専門員へ行った聞き取り調査について、包括的・継続的ケアの実施に活かしていく。

令和7年2月に予定している益田市ケアマネジメント支援研修の開催に向けて、準備等行っていく。

4.介護予防ケアマネジメント事業

【目的】

高齢者が要介護状態等となることの予防、要介護状態等の軽減・悪化の防止をはかるために、要支援者等の状況にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助をおこなう。

【実績】

(1)介護予防支援

表1 給付管理実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均	R5 年度月平均(上期)
要支援1	3	3	3	3	3	3	3	3
要支援2	7	7	5	5	6	6	6	4.8

表2 実績過去比較(上期分)

	介護予防支援(件)	新規(件)	介護報酬(円)
令和5年度	47	1	178,200
令和6年度	54	1	241,680

(2)介護予防ケアマネジメント支援

表 3 給付管理実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均	R5 年度月平均(上期)
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1
要支援1	12	11	11	12	12	10	11.3	8.1
要支援2	7	8	5	5	4	6	5.8	5.6

表 4 実績過去比較(上期分)

	介護予防支援(件)	新規(件)	介護報酬(円)
令和5年度	89	4	401,820
令和6年度	109	1	484,780

【課題】

昨年度より介護予防支援件数が増加しており、介護報酬も増額となっているが、新規件数は少ない。

【次期に向けた取組み】

継続して適切なマネジメントを行い、サービス利用が必要な方が適切なサービスを利用できるよう必要な援助を行う。

5.圏域地域ケア会議

【目的】

個別ケースの支援内容の検討を通じて、介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの質を高めることや高齢者等の実態把握及び地域包括支援ネットワークを構築する。

【実績】

※別紙1 参照

【課題】

事例検討と地域課題の把握を一体的に行っているが、事前準備と進行の不十分さから、地域課題の検討に至らないことが多かった。

【次期に向けた取組み】

事前準備の十分な確保は難しいが、圏域地域ケア会議を計画通り実施する。

6.任意事業・その他

【実績】

(1)住宅改修支援事業

上期実績なし

表1 住宅改修支援事業実績

	利用サービス(件)	対応者

(2)益田市地域支援事業利用申請支援

上期実績なし

表2 地域支援事業利用申請支援

	利用サービス(件)	対応者

(3)益田市高齢者支援事業利用申請支援

上期実績なし

表3 高齢者支援事業利用申請支援

	利用サービス(件)	対応者

7.研修・訓練・会議について

【目的】

各事業を推進するにあたり、職員のスキルアップを継続的に行うことで、地域包括支援センターの更なる機能強化を図る。

【実績】

(1)外部研修

※別紙2 参照

(2)内部研修

表1 内部研修実績

日付		内容	参加者
7月	11	【高齢者虐待防止】身体拘束廃止・防止について	寺戸 義昭 海老谷 美陽子
8月	8	【感染症対策】感染症を防ぐためには	寺戸 義昭 海老谷 美陽子

(3)BCP 訓練

表2 訓練実績

日付		内容	参加者
9月	20	初動の確認・連絡体制、利用者優先順位の確認。 物品の確認と試用。	寺戸 義昭 海老谷 美陽子

(4)会議

※別紙3 参照

【課題】

夜間に開催される集合又はオンライン研修について、現状での参加の難しさがある。

【次期に向けた取組み】

夜間開催の研修についての参加は難しさがあるが、職員のスキルアップのため必要な研修には参加を行う。

8.委員会について

【目的】

- ・事業所内及び利用者の居住地において、感染症が発生し、またはまん延しないように必要な措置を講ずるための体制を整備する。
- ・虐待等の発生の防止・早期発見に加え、虐待等が発生した場合はその再発を防止するための対策を検討するとともに、虐待防止に関する対策を適切に実施する。

【実績】

(1)感染対策委員会

事業所内にて委員会を下記のとおり開催した。

表1 感染対策委員会等開催実績

開催日		内容	参加者
6月	24	指針、BCP、研修・訓練・取り組み計画について確認	新田 香 海老谷 美陽子

(2)高齢者虐待防止委員会

事業所内にて委員会を下記のとおり開催した。

表2 高齢者虐待防止委員会等開催実績

開催日		内容	参加者
5月	24	指針、研修、取組計画、高齢者虐待対応フローチャートについて確認	新田 香 海老谷 美陽子

匹見地域包括支援センター

●事業実績

1.総合相談支援事業

【目的】

地域に住む高齢者等に関するさまざまな相談を受け止め、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて包括支援センターの各業務につなげていく。

【実績】

(1)総合相談

対応した相談の5割が介護予防ケアマネジメント事業への移行や居宅介護支援事業所への紹介、介護保険外サービス利用開始等により終結している。ケースに応じて適宜、行政保健師や福祉総務課など関係機関に相談するなど、連携による対応ができています。

表1 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R5 年度上期計
新規相談件数	7	2	2	1	1	7	20	25
継続相談件数	1	4	2	2	0	1	10	11
延べ対応件数	24	27	23	11	1	13	99	92

(2)実態把握等

地域の援助者や住民の方とのネットワーク構築やニーズ把握、センターの周知活動を目的として、地域住民らが集う場へ出かけた。

表2 実態把握等実績

日付		活動内容	対応者
4月	2	百歳体操教室(石谷老人福祉センター) 生協しまね説明会(石谷老人福祉センター)	竹田こずえ
5月	21	いいの里協議会買い物支援出発式(匹見下公民館)	//
	23	百歳体操教室(持三郎集会所)	//
	28	百歳体操教室(匹見下公民館)	//
8月	6	百歳体操教室(石谷老人福祉センター)	//
	20	百歳体操教室(匹見下公民館)	//

【課題】

- ・地域包括支援センターにおける総合相談支援はセンター内の多職種によるチーム対応が求められるが、当センターではセンター内でのチーム対応が難しい状況のため、行政や社協など他機関の専門職等との連携が不可欠となっている。それらの関係者と協働して支援にあたることができるよう、日頃から相談し合える関係性を構築しておくことが必要。
- ・出かけた集いの場が匹見下地区に偏っている。他業務や会議、研修等により訪問調整が難しい状況があるが、偏りなく地域全域への訪問ができるよう、スケジュール管理が必要。

【次期に向けた取組み】

- ・相談ケースに応じ、地域の関係者等と協働しながら、支援の終結に向けて対応する。
- ・スケジュール管理をおこない、匹見地域全域でのアウトリーチ活動を展開する。

2.権利擁護事業

【目的】

高齢者等が住み慣れた地域で尊厳のある生活と人生を維持するための、権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を専門的におこなう。

【実績】

(1)高齢者虐待に関すること

虐待が疑われるケースの相談実績、対応実績はなし。

表1 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R5 年度上期計
通報件数	0	0	0	0	0	0	0	0
うち虐待認定件数	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)成年後見制度に関すること

居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの相談に対し、福祉総務課とともに、申立人の検討や今後の対応等について協議している。

表 2 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R5 年度上期計
相談件数	0	0	0	1	0	0	1	0

(3)消費者被害等に関すること

地域内で発生した事案について駐在所より情報提供あり。得た情報を地域内の各サービス事業所及び地域ケア会議にて提供し、利用者や地域住民に対する注意喚起活動を依頼した。

表 3 活動実績

日付	活動内容	関係機関	対応者
5月	車両ナンバープレート盗難に関する注意喚起	匹見駐在所 サービス事業所	竹田こずえ

(4)認知症支援に関すること

認知症高齢者の金銭管理に関する相談に対して、居宅介護支援事業所の介護支援専門員や地域総務課職員等とともに自宅訪問するなど対応した。

表 4 相談実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R5 年度上期計
相談件数	1	1	1	1	0	1	5	3

【課題】

- ・高齢者虐待に関する相談対応実績が過去3年間ない状況となっている。日頃から、虐待の芽に気づく意識や視点をもち業務にあたる必要がある。

【次期に向けた取組み】

- ・権利擁護に関する相談等を受け付けた際に適切な対応がおこなえるよう、適宜マニュアル等の確認をおこなう。また、研修等への参加を通じて、権利擁護に関する情報や知識等の獲得に取り組む。

3.包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

【目的】

地域包括ケア推進のため、介護支援専門員が中心となって包括的・継続的ケアマネジメントを実践することができるように、直接的に介護支援専門員を支援するとともに、環境面を整備する間接的な支援を実施する。

【実績】

(1)介護支援専門員支援

地域の介護支援専門員等から相談を受け付けた際には、状況整理をサポートしたり、対応等について助言したりしている。

(2)益田市ケアマネジメント支援研修

年3回(8月、11月、2月)開催される上記研修について、5地域包括支援センターで役割分担し、担当する研修の企画・運営をおこなっている。

表1 活動実績

日付		活動内容	開催場所	対応者
4月	18	研修委員会	オンライン	竹田こずえ
9月	5	事前協議会	西部地域包括支援センター	//

【課題】

- ・地域の介護支援専門員等からの相談ケースに対しての個別支援が主となり、関係者を交えたケースカンファレンスの開催など、介護支援専門員等のネットワーク形成支援へ展開することができなかった。

【次期に向けた取組み】

- ・地域の介護支援専門員等に対して、個別支援に加え、ネットワーク形成支援を意識しながら取り組む。
- ・令和6年11月及び令和7年2月に予定されている益田市ケアマネジメント支援研修の各研修の開催に向けた準備等に取り組む。

4.介護予防ケアマネジメント事業

【目的】

高齢者が要介護状態等となることの予防、要介護状態等の軽減・悪化の防止をはかるために、要支援者等の状況にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助をおこなう。

【実績】

(1)介護予防支援

昨年度上期と比較して給付管理件数が微増しているが、新規利用開始に伴うケアプランの作成、認定

更新及び利用サービスや支援の追加等に伴うケアプランの変更など、状況に応じたケアマネジメント業務を適切におこなうことができている。

表1 給付管理実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均	R5 年度月平均(上期)
要支援1	6	8	8	8	9	9	8	6.2
要支援2	16	13	14	14	15	13	14.1	13.8

表2 実績過去比較(上期分)

	介護予防支援(件)	新規(件)	介護報酬(円)
令和5年度	120	3	534,600
令和6年度	133	5	602,860

(2)介護予防ケアマネジメント

新規利用開始に伴うケアプランの作成、認定更新及び利用サービスや支援の追加等に伴うケアプランの変更など、状況に応じたケアマネジメント業務を適切におこなうことができている。

表3 給付管理実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月平均	R5 年度月平均(上期)
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	3
要支援1	9	7	7	9	7	7	7.7	6.3
要支援2	10	11	10	11	10	12	10.7	12

表4 実績過去比較(上期分)

	介護予防ケアマネジメント(件)	新規(件)	介護報酬(円)
令和5年度	128	3	569,640
令和6年度	116	3	521,720

(3)介護予防の推進活動

歯科診療所と協働し、「オーラルフレイル予防啓発チラシ」を奇数月に作成・発行し、サービス利用者や百歳体操教室参加者等に配布する活動を継続している。

【課題】

- ・訪問介護事業所、通所介護事業所、短期入所生活介護事業所のいずれも人員不足の状態が継続していることに加え、各サービス利用希望者も増加しているため、特に新規のサービス利用開始の調整に時間がかかる。

【次期に向けた取組み】

- ・適切なケアマネジメント手法を取り入れながら、プロセスに基づいたケアマネジメントを実践する。

5.圏域地域ケア会議

【目的】

個別ケースの支援内容の検討を通じて、介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメントの質を高め、高齢者等の実態把握及び地域包括支援ネットワークを構築し、地域課題を把握する。

【実績】

概ね予定通りの定例開催ができ、個別事例検討や地域の状況や課題についての協議ができている。
個別支援にかかわっている民生委員に参加していただき、民生委員と地域の医療・介護の専門職とのつながりづくりの場として会議体を活用できている。

※別紙1 参照

【課題】

- ・主業務の兼ね合いにより、構成メンバー全員が揃った会議の開催が難しい。
- ・個別事例検討と地域課題の把握を一体的におこなっているが、事前準備と進行の不十分さから、地域課題の検討を深めることができていない。
- ・地域では解決に向けた取り組みが困難と思われる課題を、地域ケア推進会議（政策形成機能をもつ益田市主催会議）につなげるスキルが弱い（圏域地域ケア会議と地域ケア推進会議の連動が難しい）

【次期に向けた取組み】

- ・第2層協議体との合同会議を開催し、「生活支援」「介護予防」の地域課題に焦点を当てた意見交換や協議をおこなう。
- ・地域課題の整理、地域課題解決に対する取り組みについての検討をおこなう。

6.任意事業・その他

【実績】

(1)住宅改修支援事業

介護予防支援または居宅介護支援の提供を受けていない利用者に対して、自宅訪問をおこない、住宅改修費の支給申請に係る理由書等を作成した。

表1 住宅改修支援事業実績

	利用サービス(件)	対応者
4月	住宅改修(1)	竹田こずえ

(2)益田市地域支援事業利用申請支援

介護予防支援、介護予防ケアマネジメント、居宅介護支援の提供を受けていない利用者に対して、自宅訪問をおこない、配食サービスの新規利用申請に係る現況調査等を実施した。

表2 地域支援事業利用申請支援

	利用サービス(件)	対応者
5月	配食サービス(2)	竹田こずえ
7月	配食サービス(1)	粂山伊津枝
9月	配食サービス(1)	竹田こずえ

(3)益田市高齢者支援事業利用申請支援

支援実績なし

表3 高齢者支援事業利用申請支援

	利用サービス(件)	対応者

7.研修・訓練・会議について

【目的】

職員のスキルアップや関係機関等とのネットワーク形成をはかることにより、地域包括支援センターの各事業を推進し、機能強化をめざす。また、訓練等により、感染症や自然災害が発生しても業務を中断させないよう準備する。

【実績】

(1)外部研修

※別紙2 参照

(2)内部研修

居宅介護支援事業所と合同で毎月、研修テーマを設定し実施した。

表1 内部研修実績

日付		内容	参加者
4月	11	【接遇】介護現場をよくする接遇・マナー	靱山 伊津枝 竹田 こずえ
5月	10	【法令順守】コンプライアンス	//
6月	13	【倫理綱領・行動規範】根拠のあるケアマネジメント	//
7月	10	【食中毒】予防とまん延防止	//
8月	21	【メンタルヘルス】ストレスの悪循環を断ち切る	//
9月	11	【高齢者虐待防止】なぜ高齢者虐待がおこるのか	//

(3)BCP 訓練

上期における訓練実績なし

表2 訓練実績

日付		内容	参加者

(4)会議

※別紙3 参照

【課題】

- ・BCP訓練ができていない。
- ・夜間に開催される集合またはオンライン研修、オンライン会議について、現状での参加の難しさがある。

【次期に向けた取組み】

- ・BCP訓練をおこなう。
- ・事業推進や機能強化、職員のスキルアップのために必要な研修等への参加ができるよう、業務等の調整をはかる。

8.委員会について

【目的】

- ・事業所内及び利用者の居住地において、感染症が発生し、またはまん延しないように必要な措置を講ずるための体制を整備する。

・虐待等の発生の防止・早期発見に加え、虐待等が発生した場合はその再発を防止するための対策を検討するとともに、虐待防止に関する対策を適切に実施する。

【実績】

(1)感染対策委員会

事業所内にて委員会を下記のとおり開催した。

表1 感染対策委員会等開催実績

開催日		内容	参加者
7月	10	指針・マニュアル、担当役割の確認等	粂山 伊津枝 竹田 こずえ

(2)高齢者虐待防止委員会

事業所内にて委員会を下記のとおり開催した。

表2 高齢者虐待防止委員会等開催実績

開催日		内容	参加者
5月	17	指針、委員会、研修会の確認等	粂山 伊津枝 竹田 こずえ